

双松会会報

第38号「双松会」通巻42号「松高北高同窓会報」通巻42号

発行 松江市奥谷町164番地 双松会事務局 TEL: 0852-21-4888
島根県立松江北高等学校内 FAX: 0852-21-4977
印刷 有限会社高浜印刷 TEL: 0852-36-9100

青春グラフィティー

Vol.15

普通科26期・理数科5期
(昭和50年卒)

「北高の危機」の申し子たち

昭和49年度卒、高26期(理数科5期)の私たちを、当時校長であった兼折博先生が、「君たちが在籍する北高の今は、危機だ」と、壇上から私たちに厳しき言葉を投げかけられたこと、同期の誰もが記憶しています。そんな「危機」の申し子が、卒業42年を経て、集ったのです。果たして結果は……。

平成28年8月14日午後2時、ホテル一畑平安の間で4Rの安部圭司君がひたすら祭壇組みの作業をしています。ご存知の方もあろうかと思いますが、彼には安来の金屋子神社の宮司という肩書きがあるのです。彼は20年前には、当時厄年を迎えていた我々高26期の面々のためにお祓いをしてくださいました。今日は還暦記念同窓会を行う我々にお祓いをしてくださる予定ですが、その事前準備をしているのです。

午後3時、会場前のホワイエには各クラスの幹事が集まり受付の準備を始めます。会場内ではBGMのチェックにうちこむ1Rの安部宏君が見えます。そして司会担当の2Rの早川健二君と3Rの岩成洋子さんは司会の打ち合わせに余念がありません。午後4時、1R担任の田中達男先生と6R担任の細木保典先生にご臨席いただき、ここに集まった120余名の我々高26期の還暦記念同窓会の開会です。冒頭では、現在松江北高の校長を務めている9Rの泉雄二郎君が開会の挨拶をしてくれました。同期の人間が母校の現職校長であるという現実と、高校時代の思い出を共有した友が入り混じった空間に身を置いた時、一種不思議な感覚を覚えたのは私だけではないかと思えます。過去にも我々の先輩方が還暦を迎えて同窓会をなさっていますが、我々のように現職校長が同期の人間で、かつ還暦同窓会に同席するというケースは非常に稀だと思われま

陸上日本選手権およびインターハイ女子800メートル走で見事優勝した福田翔子選手の力強い走りを見て感動した母は母は北高の誉の念を一層強く「文武両道」「質実剛健」という校訓を思い出したに違いありません。

乾杯の後は各テーブルごとで欲談が始まりましたが、5分も経たぬ間に宴会は最高潮になりました。ある程度の予想はしていましたが……ただ幹事の立場からすると嬉しい限りです。久しぶりに会う友と懐かしい話をしながらくつろげるのはもちろんのことですが、同期ということでお互いに打ち解けあい話しあえることの素晴らしさ……これが同窓会の醍醐味です。

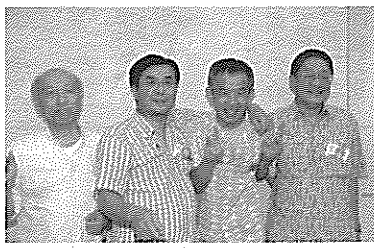
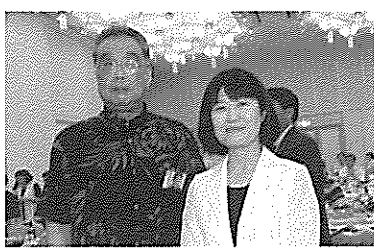
お酒もすすみ、宴もたけなわ、人の輪があらここに出来あがっています。ですが、忘れてはいけないのがお祓いイベントです。宮司の正装に衣替えをした4Rの安部圭司君によるお祓いを各R毎にしてもらいました。まだ若かった厄年の同窓会の際には参加者を一掃で祓ってもらいましたが、還暦を迎えた今回はちよびり念入りに時間をかけて祓ってもらいました。これで向こう10年間は大丈夫か？ お祓いをしてもらった後は再び酒を片手に欲談、欲談、なんて楽しいんだらう。すると8Rの石倉治道君



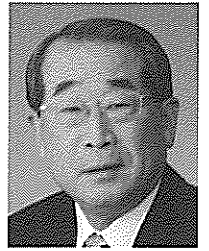
平田 明久

が写真撮ってもらけるとのこと。各R毎に撮影してもらいました。本当にありがたうございました。私の宝物にしがみつき、宴も進み「おひらき」の時刻が迫ってしまいました。あつという間の2時間半でした。この楽しい空間を去るのは名残惜しい気もしますが、2次会の開始時刻があるので、6Rの玉村哲雄君に中絶の発声してもらって無事閉会となりました。

2次会は伊勢宮で行いましたが、お祓いをしてもらって身も心も軽くなったのか、タクシニーに分乗してなんと93人の仲間が集まりました。ここは歌い放題、飲み放題ということだったので、早速カラオケをいれて再度登場の6Rの玉村君にソングリーダーを頼みました。(昔々に学園祭で彼が体育館のステージ上で歌っていたのをみんな覚えているかな?)



次々にリクエストを入れて、マイクをまわし皆で楽しく飲みながら歌い大いに盛り上がりました。(ソングリーダーお疲れ様でした!) 誰にも思い出の歌はありますが、我々はフオークソング時代の真っ只中に感受性の高い高校時代を送ることが出来た幸せを感じます。同窓会に参加してくださった皆さんどうもありがとうございました。そして幹事の皆さんどうもお疲れ様でした。お世話になりました。みなさんのご協力のおかげで「北高の危機」の申し子の我々も無事に還暦記念同窓会を終えることが出来ました。昔の仲間と会って楽しい時間をお互いに分かち合い、そこで気持ちをリフレッシュしつつ、旧友から新たなエネルギーをもらえた、高26期還暦記念同窓会でした。



ごあいさつ

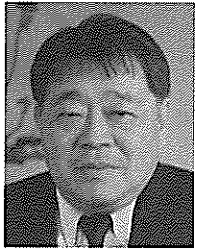
会長 金津 任紀

高16期(昭和40年卒)

双松会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にて公私共に活躍の事とご推察申し上げますと共に、日頃より会の運営や事業にご高配賜り厚く御礼申し上げます。昨年、母校北高の双松会会長に就任し、今年度は早いもので一年三回の会長任期の最終年度になります。就任二年目の昨年は、創立一四〇周年の節目を迎え、十一月には多くの皆様のご出席とご協力により記念総会を無事終えることができました。双松会員のさらなる交流と親睦を深めるため、次回はお一人でも多くのご参加を願っております。

さて、母校の一四〇余年に亘る歴史において諸先輩方によって築かれてきた伝統は脈々と今日まで後輩に受け継がれ、県下有数の進学校として、有為な人材を輩出してきたことは多くの関係者の認めるところであり、学校教育界での存在感は揺るぎないものがあるといえます。

魅力ある学校づくりの一助となることを念願してやみません。一方、創立一四〇周年のメモリアルイヤーの先に一五〇周年、さらにその先を見据えて魅力にあふれた可能性のある次の世代を継承していく若い芽は着実に育っています。母校北高が学力において安定的に一流の水準を維持し今年も多くの卒業生が国立公立大学に進学した他、体育文化クラブ活動においても生徒諸君が目覚ましい活躍を、「文武両道」を実践していることは喜ばしい限りです。長い歴史の重みを感じながら、次代の校史を刻む一歩を踏み出し、後輩たちのさらなる活躍を期待して、今後とも力強いご支援をいただければ幸いです。



ご挨拶

校長 小山 理久

高28期(昭和52年卒)

双松会の皆様には日頃から母校に對しまして多大なるご支援とご協力をいただき衷心より感謝申し上げます。特に、昨年度創立一四〇周年記念事業にあたり多くのご支援を頂戴し、また「世界の人たれ北高生」募金には多くの方々からご高資をお寄せいただき大変ありがたうございました。重ねて御礼申し上げます。

本校の校訓の「質実剛健」については、十八代校長西村先生が、「本校生徒は概ね頭脳緻密で着実に勤勉、唯強いて難を云うと生徒は大人しい代わりに稍々気力に欠けて消極的であったので(中略)生徒の心身の鍛練と元気の養成に重点を置き「質実剛健」の校風を樹立せんと努めた」と述べていらっしやいます。明治からの校風を生かすべく、この校訓を礎として「北高は時代のリーダーとなる」ということを意識してほしいと願い全教職員で日頃より誠心誠意生徒たちを育てて参りたいと考えております。

もう一つは、コミュニケーション力を高めることについてです。コミュニケーションは、益々重要であるといわれています。コミュニケーションとは、人と人との間に架け橋を築くこと、お互いの考えや感情を伝え合うこと、そして、お互いを理解し、尊重し、協力することです。本校は、コミュニケーション力を高めることを目指しています。

事務局だよ

一、創立140周年記念事業について

○松江北高校創立140周年記念総会について

平成28年11月12日(出)にホテル一畑で、多くのご来賓の皆様をお迎えし創立百四十周年記念総会を開催いたしました。高24期のカゴメ株式会社代表取締役社長寺田直行氏の「カゴメの長期ビジョンとシニアの食育」と題した記念講演、また、アトラクションとして全国一位に輝いた生徒の映像による紹介や、音楽系4部、続いて箏曲部の演奏と、懐かしの母校で育つ後輩たちの活躍をご覧いただき、今後の母校の発展に心が一つになるひと時を過ごしていただきました。おかげさまで、330名余りの皆様にご参加いただき、盛大な会となりました。ありがとうございます。また、記念総会に際して多数のご寄付を頂きました。各期3万円ずつの拠出金をお願いしたところ、現在までに計37期の方々より111万円の拠出金を頂いております。誠にありがとうございます。

○協力いただいた期

- 中62期 中63期 中67期
中68期 中69・1期
2期 4期 5期 7期 8期
10期 11期 12期 13期 14期
16期 17期 18期 19期 21期
22期 23期 26期 28期 30期
31期 32期 33期 34期 35期
36期 38期 40期 43期 46期
49期 通信制双松会

今回の総会にご出席いただきました皆様のご意見をいただきながら次回に向けて準備をしていきたいと思います。

○同窓会名簿「双松」

創立140周年の記念事業として、同窓会名簿「双松」(28年版)を昨年10月に5年ぶりに発刊いたしました。現在、若干の在庫がございます。価格5千円(送料・税込)にて販売いたしております。事務局までお問い合わせください。

二、「世界の人たれ北高生！基金」について

記念事業の一つとして、寄付による新たな基金「世界の人たれ北高生！基金」を立ち上げさせていただきます。使途としてはまず、本校生の希望者が春休みを利用してアメリカ東海岸へホームステイを含む研修旅行に出かける機会を設け、その参加費用を補助するというものです。また、長期休業中にアメリカ等の大学生をホームステイに引き、日中は本校生が、来日した大学生と英語でディスカッションやプロジェクトワークなどを行う、グローバルセミナーの参加費用を補助することも計画中です。こうしたグローバル教育はもとより、著名人を招いての講演会や、1、2年生の課題研究の諸費用に充てるというのがこの基金の趣意です。このたび、この趣旨を多くの方に理解いただき、平成29年度6月末現在で670名の方々から1064万1810円の浄財を賜っております。ご披露に併せて厚くお礼申し上げます。

三、寄付金のお礼(昨年の8月以降)

- 次の方々より、寄付金を頂いております。ご披露に合わせて、厚く御礼申し上げます。
通信制双松会より 10万円
13期(北一会)より
2万5982円
16期(昭和40年卒)より 3万円
46期(平成7年卒)より 1万1800円

昭和35年度15R 同窓会より 1万7267円

平成29年卒 (普通科68期・理数科47期)より 83円

平成28年度 理数科研修旅行会計より 29円

四、起雲館耐震工事について

7月より10月まで起雲館の耐震工事が行われます。ご不便をおかけしますが、ご了承ください。

平成29年度双松会幹事総会報告

7月9日(日)15時よりサンラポーむらくもにおいて、「幹事総会」が開催された。約60名が出席し、1時間半にわたり活発な議論がなされた。会合の後には懇親会も開かれ、和やかな時を過ごした。

- 【議題】
一、平成28年度会務報告(承認)
二、同決算報告、監査報告(承認)
三、140周年記念総会会計決算ならびに報告(承認)
四、平成29年度会務計画(承認)
五、双松会関係繰越金一覧

おかけしますが、ご了承ください。
五、名簿の訂正・お詫び
平成28年発行の名簿「双松」に、20期の庵原玲子様のご逝去と載っていますが、誤りでしたので、お詫びと同時に訂正いたします。
関係の皆様には、ご心配ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。

六、世界の人たれ北高生！基金について(承認)

- 七、平成29年度予算案(承認)
八、会報に關する諸経費援助のお願いについて(承認)
九、双松会資料室の資料保存について(承認)
十、平成29年度双松会幹事に ついて
十一、その他

- 【報告】
一、会報について
二、起雲館の耐震工事について
平成29年度双松会役員
顧問 金築 修(松中61期)
松本 幹彦(高1期)

Table with financial data for 平成28年度 双松会会計決算書. Includes columns for 収入総額, 支出総額, 繰越金, and detailed expense breakdowns like 役員報酬, 雑費, etc.

Table with financial data for 平成29年度 双松会会計予算書(案). Includes columns for 収入, 支出, and detailed expense breakdowns similar to the previous table.

- 幹事長 金平 憲(高16期)
副幹事長 庄司 尚史(高23期)
監事 栗原 康郎(高13期)
常任幹事 山口 和助(高14期)
長廻 杉原 伸治(高30期)
吉金 龍志(高19期)
松田 優子(高22期)
小松 登(高23期)
林原 寛治(高29期)
長崎 悦子(高29期)
貴谷 絳行(高31期)
馬庭 伸行(高34期)
田邊 真司(高36期)
岩本 雅之(高38期)
武藤 立樹(高42期)
安松 宗徳(高45期)
中脇 寛之(高45期)
渡部 勝(高32期)
副会長 庄司 任紀(高11期)
古瀬 誠(高16期)
勝部 昌幸(高21期)
菅野 恵子(高22期)
河原 一朗(高23期)
泉 雄二朗(高26期)
小山 理久(高28期)
(松江北高校長)

特集

創立140周年記念
双松会総会を開催

昨年の11月12日(土)に、ホテル一畑において、記念式典と懇親会が開催されました。330人余りと大変多くの参加を頂き、盛大な総会になりました。

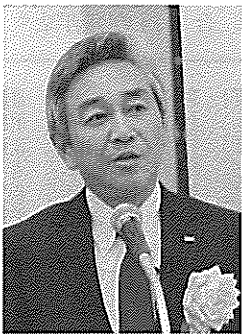


記念総会

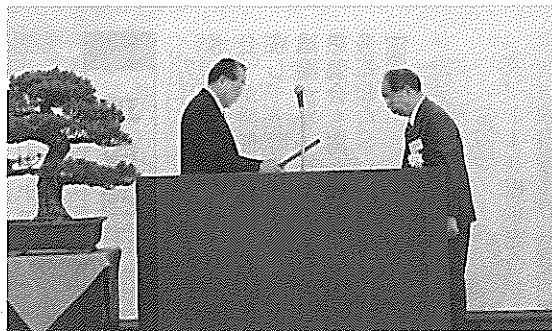


金津会長の挨拶

記念総会次第(於 サンシャインホール)	14:00~
物故者恩霊黙祷 開会のことば 校歌斉唱 「赤山健児の歌」「松江北高等学校校歌」 会長挨拶 学校近況報告 来賓祝辞 来賓紹介 功勞者表彰 閉会のことば	
記念講演	14:35~
演題「カゴメの長期ビジョンとシニアの食育」 講師 寺田 直行氏 (21期) カゴメ株式会社代表取締役社長 一般財団法人全国トマト工業会会長	
アトラクション	15:45~
「全国一になった生徒の活躍」の上映 音楽系4部合同演奏「松江北高校校歌140周年記念版」の上映 (合唱部、吹奏部、琴曲部、鼓楽部) 琴曲部の演奏「合奏曲 六段」 作曲：八坂 敏雄、長沢 勝徳	
懇談会次第(於 平安の間)	16:30~
開会のことば 会長挨拶 スピーチ 乾杯 祝賀(穴道湖一周 S37.4.26上映) 万歳三唱 閉会のことば	



記念講演
(講師：寺田直行)



功勞者表彰(前会長 庄司 肇、前副会長 山本隆志)



来賓祝辞
松江市長 松浦氏



泉校長より近況報告



司会(左から 岡本隆志、岡根由真、金津理子、森谷佳奈)



800m日本一
福田翔子さん



かるた日本一
寺井 萌乃さん



懇親会



箏曲部



双松会 140周年記念総会会計決算書
(双松会記念会基金)

【収支決算】

収入総額	4,798,547
支出総額	3,357,525
残 額	1,441,022
基金	-1,000,000
差引残高	441,022

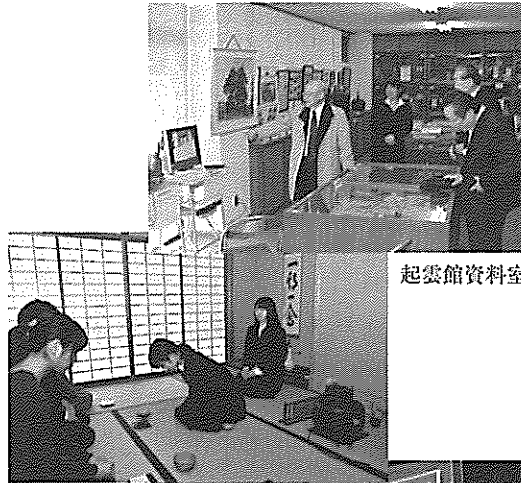
※ 定期預金：200万+100万=300万円

【収入の部】

費 目	予算額	決算額	増減(△)	備 考
1 新制会費	556,661	556,661	0	100名周年会費より繰越
2 会 費	2,200,000	2,520,910	320,910	317名分(男性201名、女性51名、50周年5名、武蔵のみ6名)
3 雑入金	2,000,000	0	△ 2,000,000	定期預金(西暦年記念基金) ※
4 雑出金	300,000	1,106,436	796,436	香典より3万円×37期分
5 雑収入	3,339	624,431	591,147	寄付・祝儀(84名)、預金利息
合 計	5,660,000	4,798,547	△ 861,453	

【支出の部】

費 目	予算額	決算額	増減(△)	備 考
1 新制会費	0	0	0	
2 会 場 費	200,000	223,560	△ 23,560	式典会場費、投入資料等
3 設 置 費	110,000	153,720	△ 43,720	飾り物、看板(3)、演劇、スクリーン(2)、席札
4 印刷費	2,000,000	1,929,700	70,292	料理、飲料、資料(274名分)、サービス料、消費税、産地運送料、楽譜代
5 講演費	200,000	137,800	62,200	講師謝礼(講演5)、司会謝礼、タクシー代(講師・奥席)
6 贈 答 費	200,000	209,504	△ 9,504	記念品料(功労者賞状2名)、賞状・感謝・印刷代
7 印刷費	400,000	309,572	90,428	140周年記念事業案内、産地用紙、封筒、式表紙、席次表(400)
8 通信事務費	100,000	63,276	36,724	ハガキ、伝手代(高内訳：資料送付)
9 会 議 費	100,000	3,820	96,180	飲料代(実行委員会)
10 雑 費	50,000	56,372	△ 6,372	名札・名刺カード、封筒・懐紙、ラベル、写真代
11 記念事務費	200,000	210,001	10,001	野球観戦試合、交流コンサート、資料室・茶室の開設、懐かしの秋篠
12 予 備 費	2,000,000	0	2,000,000	
合 計	5,660,000	3,357,525	2,302,475	



起雲館資料室



交流ライブコンサート

- 創立140周年記念関連事業
- 同窓生名簿「双松」(平成28年版) 発刊
- 「世界の人たれ北高生! 基金」創設
- 起雲館資料室・茶室の開設
- 「創立140周年記念 松江北高等学校10年史」発刊
- 鳥取西高等学校野球部との交流試合(松江市野球場)
- 交流ライブコンサート(市内ライブハウス maybe)

各期だよ

双松68期同窓有志会

松中68期 安部 英治

6月8日(木)、今年米寿を迎えた双松68期同窓有志会(旧制松江中学昭和23年卒)は(株)ホテル一畑においてそのお祝いの会を開催しました。

当日、遠くは富山、沼津、神戸等の参加があり、各人の近況報告やら、応援歌をうたうなど、賑々しく旧交をあたためました。

そして、さらなる健康長寿を願い、2020年(卒寿)の再会を期したところです。



平成29年 双松68期同窓有志会 平成29年6月8日 於 ホテル一畑

高5期の双松会幹事

高5期 田村 郁夫

双松会幹事…(高5期・昭和29年卒)の辞退に伴って、前任者(3名)から、後任幹事として、松五会)の田村郁夫、幸野和義、森脇邦江、加村早陽子の4名を選出しましたのでお知らせします。

変わった姿形・心は青春!

高3期 中村 和美

去る平成28年8月13日、松江エクセルホテル東急において、第38期・理数科17期(昭和

和62年卒)同窓会が開催されました。高校卒業から30年、そんな区切りの年を迎えるにあたり、学舎で3年間を共にした仲間と再び集う貴重な機会となりました。

当日は、82名の同窓生が一同に会し、また4名の恩師もお招きし、賑やかで懐かしい時間を過ごしました。さすがに30年も経っていると「〇〇ですが、分かる?」と言われながらも、思っていたより、会場顔を合わせたとたん「わあ、あ、久しぶり!!」とあちこちで歓声があがり、あつと人々の輪ができました。会場に入ってからまじやべり。会場が咲き、同じクラスの仲間の話をしたことの無い「はじめまして」さんとも一気に距離が縮まったのでした。

それぞれたの三年時在籍クラスを披露すると、「そうだったそうだった!」と、どつと笑いが湧きおこりました。きつと今の在校生が聞いたらびっくりするよなお転婆ぶりかもしれません。やんちゃや元気いっぱいなのは38期生は個性豊

かなまま大人になったようで、余興として弁護士かつマジシャン(!!)の野島君のマジックショーがあったり、記念誌作成にあたっては新聞社や広告代理店勤務のプロを中心として、大胆かつクオリティの高い記念誌を作ったり。個性はそのまま社会で活躍する素地となっているようです。

驚いたのは、恩師の先生方がこんな私達生徒の名前やエピソードを細かく覚えていてくださったこと。出来の良かったこともそうでないコ(私)も、みんなが確かにあの学舎で輝いていた証があったのだなあと嬉しく、ありがたい気持ちでいっぱいになりました。

あれから何回か「ブチ同窓会」として松江のみならず東京などでも有志で集う機会がありました。同窓生っていいもんですね。こんな時間経っていてもあつという間にあの頃に戻れる。そして肩ひじをはらずに本音で話せる。かけがえのない仲間だと改めて感じました。

会を運営するにあたり、岩本君をはじめ幹事の皆様へたいへんお世話になりました。心よりお礼を申し上げます。

30年ぶりの再会はいかに

変わった姿形 心は青春!

山陰双松新報

2017年8月13日

理数科第38期 理数科第17期



卒業アルバム1コマを30年振りに再現

双松会地区だより

東京双松会

東京双松会 事務局長 中村 康一 (高16期)

連日、うだるような暑さが続く7月の東京ですが、これが吹き飛ばすようなニュースが入ってきました。この度の霞が関人事で北高卒業生、毛利信二氏(27期)が国土交通省事務次官に就任されました。また、時を同じくして日経新聞のコラム「交遊抄」では、カゴメの寺田直行社長(24期)が北高に触れられています。

政治家から言えば、参議院議員の島田三郎氏も卒業生(26期)です。さらに、今年度の東京双松会総会の講演者は、教育界からAI(人工知能)分野の第一人者である須藤修東大教授(25期)です。これらの方々をはじめ、東京双松会地域での北高OB諸氏の多方面での活躍は枚挙にいとまがありません。東京双松会幹事会では、北高卒業生の活躍が毎回、話題に上っています。

本年度の東京双松会総会は第62回となります。多彩な分野で活躍中の卒業生、第一線からは退かれたものの元気な卒業生、現役の大学生など等、大勢の方に参加して頂き有意義で楽しい交流が出来ればと願っています。

また、ホームページは、総会報告、随筆、自由投稿、各種案内など盛りだくさんです。入会申し込みも受け付けてい

ます。是非一度、アクセスしてみてください。

(http://www.tokyo-soshokai.org/)

平成29年度 第62回総会

活動報告、講演、懇親会

期日:10月14日(土)

正午~午後4時

会場:アルカディア市ヶ谷 (私学会館)

JR/地下鉄市ヶ谷駅 徒歩2分

電話:03-3261-9221

講演:須藤 修

東京大学大学院情報学環教授

(北高S49年度卒・25期)

「AI(人工知能)と

生活・医療」

AIとはどんな技術で、私

たちの生活や医療にどんな貢

献があるのか、何が出来るよ

うになるのか。分かりやすく

語って頂きます。

お問い合わせ先:

東京双松会事務局

T10210084

千代田区二番町11-3

「中央印刷事務器(株)」

TEL 03-3265-4858

近畿双松会

近畿双松会 事務局長 渡辺 悟 (高20期)

28年度総会は116名が出席、母校の慶事のおすそ分けをたつぷりいただきました。

「校歌140周年記念パ

ジョン」合同演奏会を皮切りに、百人一首かるた読み手部門

寺井萌乃さん、インターハイ陸上女子800m福田翔子さんと

「二人の日本」の映像がスク

リーン一杯に映し出され、あま

りの臨場感に拍手と声援が上

がるほど。

AV(オーディオ・ビジュ

アル)が大いに盛り上げてくれたわけですが、AVの命はハードではなくもちろんソフト。母校、後輩の皆さんの素晴らしいソフトをお待ちしています。

講演をお願いした清原正義、兵庫県立大学学長(16期)は、29年4月、島根県立大学理事

長兼学長に就任されました。不思議な?ご縁を感じます。

本年度の活動骨子は次の通りです。近畿在住の皆さん、ぜひご参加ください。

平成29年度総会・懇親会

期日:11月26日(日)

午前11時半~午後3時半

会場:中央電気倶楽部 (大阪市北区)

講師:泉紳一郎氏(24期、理3期)

大和大学理工学部設置準備室

長・特任教授

(元文部科学省科学技術・学術

政策局長)

(9月に詳細を)案内)

その他の行事

ゴルフ、文楽鑑賞、歴史ウォー

キング、里山ハイキング、宝塚

歌劇鑑賞、落語鑑賞、年会報

発行

お問い合わせ先:

事務局長 渡辺悟宛

携 帯:090-1449-6085

メール:s.watanabe@kousoku-

office.co.jp

「近畿双松会HP」から各参

加お申し込みもできます

↓http://www.kinki-soshokai.org/

米子双松会

米子双松会 事務局長 中西 秀夫 (高15期)

本年総会は3月12日、泉雄二郎北高校長をお迎えし開催しました。本年は役員改選年でありましたが、岡美知雄会長をはじめ、ほとんどが留任でスタートとなりました。講演は本会会員の川上伸氏(高12期・皆生温泉病院副院長)に、脳神経外科専門医として「脳の病気」について画像等も使用しながら分かりやすくお話しいただきました。

恒例となっている納涼会は7月9日に開催し、米子市在住のサキソフォン奏者、大原章子さんのサクソクスとオカリナの音色と大地ビールに酔い痴れ、猛暑に向い暑気払いをしました。

ゴルフ部会は毎月大山の3ゴルフ場でコンペを行い、毎回全員に賞品があり皆楽しみに参加しています。

旅行部会は10月1日に、3年前の計画で台風のため中止した、本会会員の庄司尚史氏の住いで、地方建築史上貴重な建物である、江戸時代後期の富豪屋敷を拝見し、大根島の由志園で懇親会をします。

各種行事とも年々参加者が減少してきています。活気ある楽しい米子双松会となるよう多くの同窓生の入会をお待ちしています。

連絡先 米子双松会事務局 T680913402 米子市淀江町淀江77-1



TEL&FAX 08591562315 中西秀夫 宛

広島双松会

広島双松会 幹事長 石原 通弘 (高13期)

平成28年11月に10周年記念(11回)総会を双松会副会長勝部昌幸様及び北高校長泉雄二郎様に臨席賜り開催し、会長に大木洋(13期卒)を再任し、活動計画等を決定しました。また、島根県広島事務所課長佐藤撰子様、広島矢の原会長柴田篤様に出席賜り、総会に華を添えていただきました。

設立以来同級生や職域を通じて口々に情報を伝達することとしていますが、十分な周知が出来ていません。会報をご覧いただいた方、事務局へご連絡いただければ喜びます。

一、今年の活動計画 今年の活動は恒例の総会・懇親会に、納涼親睦会一回、ゴルフコンペ二回程度開催して会員の親睦を深めます。

二、役員改選(再任) 会長 大木 洋 13期卒 副会長 新見 泰正 13期卒

副会長 新納 慎治 23期卒
副会長 夏明 秀嗣 25期卒
副会長 富岡 秀樹 26期卒

三、第12回総会・懇親会

日時：平成29年11月11日(土)
16時～19時
場所：広島ダイヤモンドホテル
(広島市西区観音新町
2-4-6)

四、その他の行事予定

①納涼親睦会
日時：平成29年7月21日(金)
18時30分
場所：さとう広島店本館
「マダムシエンロン」
(広島市中区)

②親睦ゴルフコンペ
日時：平成29年10月14日(土)
場所：宮島志和カントリー倶楽部
(東広島市志和町)

五、連絡先

幹事長 石原 通弘
〒739-1742
広島市安佐北区亀崎二丁目29番26号
TEL&FAX
082-842-1416
携帯電話
090-9507-2312
E-Mail
ishihara2926@memail.jp

通信制双松会

通信制双松会 会長
野津 裕

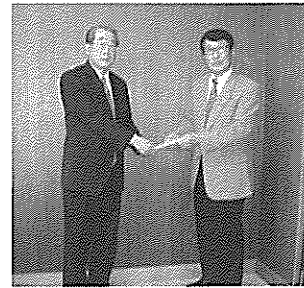
一、役員会報告

平成28年11月12日
於 ホテル一畑

議題一

松江北高通信制同窓会残余金の扱いについて
双松会へ10万円寄附

宍道高校へ5万円寄附し残余金64万6569円は通信制双松会予算に組入れる。



金津 双松会会長と野津 通信制双松会会長

議題二 役員を選任

①副会長
海透 晃司氏(昭和61年卒)
(中島 実氏辞退による)
②雲南地区幹事
中井 正氏(昭和51年卒)
(雲南地区幹事新設による)

議題三

今後の総会及び懇親会の開催について

松江での常時開催は諸般の事情を考慮し避け、次のようにする。

島根県を東部(安来、松江、隠岐)
中部(出雲、雲南、飯南)
西部(大田、浜田、益田)の三地区に分けて、輪番開催とする。
平成29年度は中部地区(出雲市)

二、総会、懇親会の案内

期日 平成29年11月18日(土)
14時より
場所 出雲市渡橋町831
(出雲ロイヤルホテル)
☎0853-237211

会費 5500円

参加申し込みは、ハガキに氏名、住所、電話番号、卒業年を記入して左記に申し込んで下さい。同窓生の方お誘い合わせの上多数ご出席ください。

申込み締切り10月末日
〒699-0622

出雲市斐川町名島2ノ1
伊東 健治 行き

詳細は参加者申込み者以後日連絡致します。
お問合せは 伊東 健治
(090-7136-8190)

北高生の活躍

島根県高等学校総合体育大会

男女総合準優勝

(男子総合2位・女子総合3位)

5月下旬から6月上旬にかけて第55回島根県高等学校総合体育大会が行われました。各部熱戦を繰り広げた結果、男女総合(Aグループ)第2位となりました。各部それぞれ目標に向かい、全力を尽くしました。8月に南東北地方で開催される全国高校総体(インターハイ)に出場するチーム・選手を紹介します。

陸上競技部

男子200m 2年 門脇 陸
女子200m 3年 大賀 結莉
女子100mハードル 3年 大賀 結莉
2年 高田 桃花

女子4x100mリレー

3年 大賀 結莉
2年 高田 桃花
2年 山口 愛莉
2年 糸原 悠
1年 大下 愛梨
1年 佐田 由葉

登山部

男子団体 3年 松本 諒祐
3年 加藤 心
3年 岩成 清
3年 内田裕一郎
3年 須藤 珠里
3年 畑 日和
3年 福間 美帆
2年 栗原 美桜

弓道部

男子団体 3年 山田 敏大
3年 山本 晃平
3年 青戸 一晃
3年 寺本 真紘
3年 町田 修一
2年 石橋 大輔

新体操部

個人総合 2年 倉内 実里

文化部の活躍

県内予選を通過し、8月に宮城県で行われる全国高等学校総合文化祭に出場する部を紹介します。

百人一首かるた部

読手の部 3年 下舞 陽菜
取手の部 3年 吉岡美加子

美術部

3年 吉長 紫苑
囲碁将棋部 2年 竹内 悠人

将棋部門

男子団体 3年 太田 陸
3年 山本 祐己
3年 橋本 龍馬
2年 山根 陽

弦楽部

2年 正岡 奏汰
2年 山本 大輔
2年 高木 佑
2年 里見 倭
1年 池淵わか
1年 小林和奏子
1年 坂榮 夢翔
1年 喜多川 笑歌

写真部

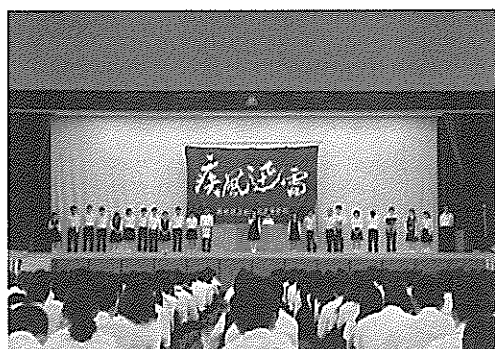
3年 三島健太郎

自然科学部

地学部門(研究発表)
3年 梶谷 奎伍
3年 大竹 諒

その他の全国大会

放送部 第64回NHK杯全国高等学校放送コンテスト
朗読部門 2年 青山 維吹



本年度の進路状況

進路指導部長 坂上清一郎

2017年度大学入試センター試験における受験者数は、前年から1万2千199人増の57万5千967人であった。一方で国立大学の志願者総数は前年から約千人減の47万776人で、志願倍率は、ほぼ横ばいの3.9倍であった。平均点は、文系54.8点、理系56.3点(いずれも900点満点)と、ほぼ前年度と変わらなかった。ただし、国語の平均点が約25点減少するなど科目によるバラツキが目につき、得手不得手によっては思わぬ結果に終わってしまった受験生も多い。極端に苦手科目があるとセンター試験では不利になる、という当たり前のことが如実に現れた。学部系統別の志願者数を見ると、国立大前期日程で法・人文・経済・経営・商などが増加し、理・生活科学・看護等が減少。「文高理低」傾向はこの3年間継続している。

本校生徒の入試結果を振り返ると、国立大学合格者数は、現浪合わせて延べ221人で、前年から33増加した。前期合格者数が昨年の154から178、中後期合格者数が

昨年の34から43と、どの日程でも増加した。いわゆる難関10大学(旧帝国大7大学+一橋・東京工業・神戸)の合格者数は29で昨年からの微増。国立大医学科はこの5年間で最も多い13であった。

このような改革の源流は、「社会がどのような人材を求めているか」につながっている。すなわち、高校生にとっては、「どのような人材になるか」という問題を「自分事」として考えていく必要がある。自分がどんな力をつけ、どんな形で社会に貢献し、どんな人々を幸せにするために生きるのか、そんな「生き方」を考え、次のステージを選択することが重要である。それがいわゆる将来の「夢」。その夢に対する思いが強ければ強いほど、目の前の高い壁に向かう意欲が強くなる。次のステージに向けて壁を乗り越えることこそが「受験」である。北高での進路指導は、何度も何度も面談を繰り返し、何度も進路希望調査を行う中で、自分の「生き方」を考え、そのために必要な力をつけるための努力

から、高大接続改革の進捗状況が発表された。2020年度の高3生(現在の中3生)から、現行の「大学入試センター試験」が「大学入学共通テスト(仮称)」に変更予定で、その内容の一部や方針が報告された。まだ先の話と思われるかもしれないが、この改革は、先行き不透明な社会を生き抜く力をつけるために、大学教育・高等学校教育とその2つをつなぐ大学入学者選抜を三位一体で改革する「高大接続改革」の一部で、大学教育・高等学校教育の改革は既に進行している。また、大学入学者選抜においても、入試問題の質や、入試形態に改革の兆しは見え始めている。大学改革では、学部・学科の新増設や改組がここ数年の間に相次ぎ、地元島根大学でも、2017年度から「人間科学部」が新設、2018年度か

を継続する。その過程では大きな苦しみを伴うことも少なくない。現役生にとつては、何もかもが初めての経験で、手探りでの模索が続く。しかし、その経験を乗り越えたと、知らぬ間に「生き方」を考え、前に進んでいる。北高での日々の学習や生徒会活動、文武両道の精神、近年取り組んでいる課題解決型学習など、すべての教育活動が、今求められている力の育成につながっている。

進路状況

平成29年度入試学校種別合格者延べ数及び就職者数(平成29年4月集計)

卒業生	平成27年3月			平成28年3月			平成29年3月		
	現	卒	計	現	卒	計	現	卒	計
国立大学	143	30	173	128	28	156	137	39	176
公立大学	26	5	31	30	2	32	42	3	45
私立大学	230	76	306	230	65	295	189	64	253
短期大学	29		29	28	2	30	31	1	32
専門学校	35		35	24		24	27	1	28
就職			0			0	1		1
合計	463	111	574	440	97	537	427	108	535
クラス数	8クラス			8クラス			8クラス		

編集後記

先ずは、この度の平成29年7月九州北部豪雨で被害を受けられた方々に心よりお見舞いを申し上げます。と共に、現場の救助活動や復旧に尽力されている方々に敬意を表します。

災害は人の営みを破壊してしまっています。そして、その破壊から復興すべく支援の手を差し伸べるのも、また、人の温かさを、絆です。一日でも早く、現場の方々に日常生活が戻って来ますように、祈り続けております。

さて、今年度の双松会会報は、期せずして、同窓会の特集となった感があります。第二面を飾ったのが還暦記念同窓会です。同期の中に母校の現職校長がいるという奇縁もあり、120余名もの友が集結されました。10年後の古希の同窓会を期すどころか、「10年も待てない。オリンピックイヤーの開催はどう？」という声もあったとか。また、今年米寿を迎えた方々による同窓会も紹介されました。更なる健康長寿を願って、2020年(卒寿)の再会を期して散会されたこと。元氣のお裾分けを頂いた気がします。

2020年のオリンピックの年は、東京だけではなく、日本中が熱くなりそうです。第五面に紹介された卒業後30年ぶりの同窓会は、(番外?)が発行された。体育祭種目の大細飛びが再現されたりと、こちらにまで楽しさが伝わって来るほどの盛会となったようです。

この世の華は何かと問われたら、私は迷わず「人と人と絆」と答えます。辛いことがあっても、人の温かさに触れて、人はまた歩を進めることが出来る。母校に勤める身として、北高の現代っ子たちが絆を強めるべく、今後も職務に邁進していきます。

今回の依頼を快諾して頂き、お忙しい中で原稿をお寄せ頂いた皆様、誠にありがとうございます。皆々様の幸を祈り続けております。(井口環(31期))